

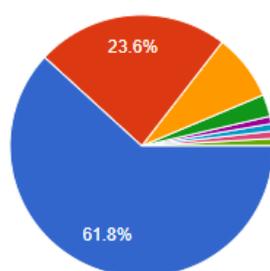
2次アンケートについて（9/1 締め切り）9/5 集計

110 件の回答が寄せられ、44 都道府県からの回答があった。

【回答の概要】

1) 都道府県別にまとめの報告をする

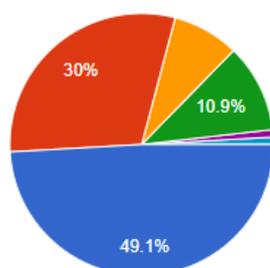
110 件の回答



- 全国企画として取り組むとよいと思う
- 都道府県毎の任意参加ならよいと思う
- よいと思うが自分は諸事情で参加できない
- 研究委員会として取り組まなくてもよいと思う
- 来年度の全国大会でこのような報告を...
- 写真の著作権への対応が難しいように...
- よいとは思いますが、最初の計画では...
- 全国企画として取り組むのが良いと思...

2) 参考文献リストを関係者内で共有する

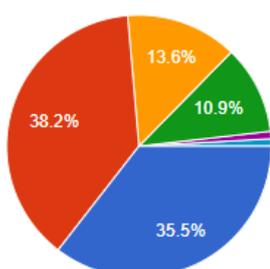
110 件の回答



- 全国企画として取り組むとよいと思う
- 都道府県毎の任意参加ならよいと思う
- よいと思うが自分は諸事情で参加できない
- 研究委員会として取り組まなくてもよいと思う
- 2014年提出のものを見直し、家庭垂料理研究委員会メンバーで共有する。
- よいとは思いますが、最初の計画ではないものが追加されていくのはよくない...

3) 次の特別研究につなげる調理器具リストの作成

110 件の回答



- 全国企画として取り組むとよいと思う
- 都道府県毎の任意参加ならよいと思う
- よいと思うが自分は諸事情で参加できない
- 研究委員会として取り組まなくてもよいと思う
- 昨日の会議も参加しましたが、研究の趣旨がもう一つ理解できない。40品目...
- 県内で参加できる会員に限られますので、少し休憩がほしいです。全国企画...

4) よいと思うものすべてを選択（複数回答）。なければ「とくにない」を選択。

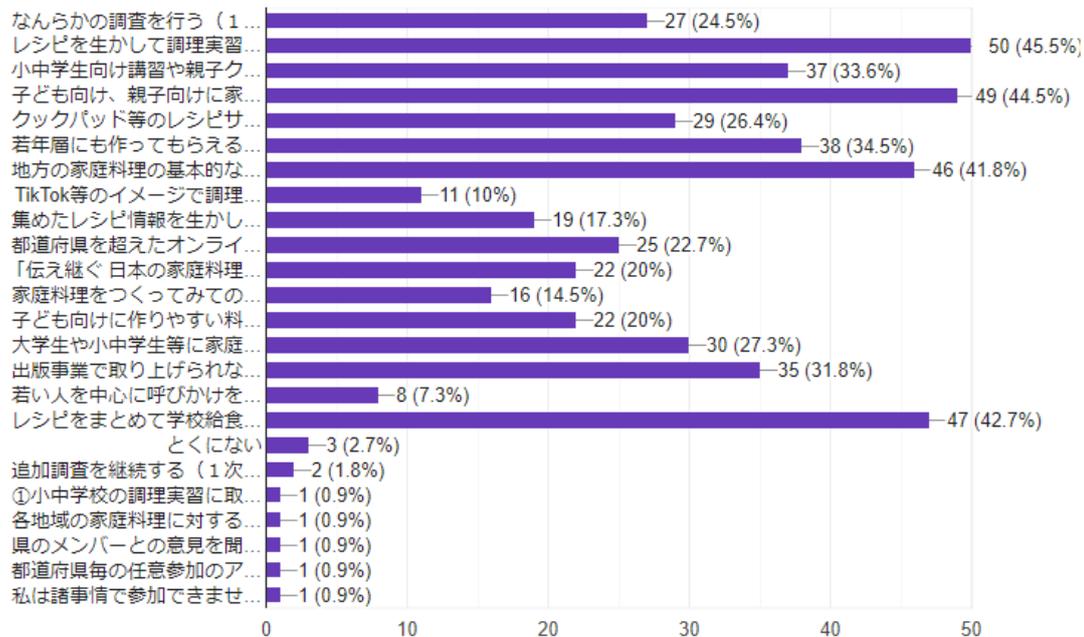
- なんらかの調査を行う（1次アンケート回答に追加調査のアイデアが複数ありました）
- レシピを生かして調理実習で作る等、授業に取り入れる。
- 小中学生向け講習や親子クッキング等でレシピを活用する。
- 子ども向け、親子向けに家庭料理を伝え継ぐための企画を検討する
- クックパッド等のレシピサービスにシリーズで投稿する
- 若年層にも作ってもらえるように、レシピ動画を作成して公開する
- 地方の家庭料理の基本的な作り方がわかる動画を作成する
- TikTok等のイメージで調理工程を倍速再生で見せられるようにする
- 集めたレシピ情報を生かして対面の料理教室、講習会を企画する
- 都道府県を超えたオンラインによる交流会、料理教室等の企画
- 「伝え継ぐ 日本の家庭料理」の作り手にお話をうかがう料理教室を企画する
- 家庭料理をつくってみての感想や料理写真を募集する
- 子ども向けに作りやすい料理だけを集めて薄い冊子にまとめる（またはWeb公開する）
- 大学生や小中学生等に家庭料理をつくってもらい、レポートしてもらう
- 出版事業で取り上げられなかった料理を掘り起こしてまとめる。
- 若い人を中心に呼びかけをしてレシピコンテストを企画する
- レシピをまとめて学校給食献立委員会等に提供する
- とくにない
- その他...

都道府県毎の任意参加のアイデアとして

よいと思うものすべてを選択（複数回答）。なければ「とくにない」を選択。



110 件の回答



5) その他、研究成果総まとめのアイデアがあればご記入ください。

(11 件の回答：「特にない」などの 2 件の回答については、下記に記述しておりません)

①各県の家庭料理を弁当(伝え継ぐランチボックス等)にして、第 1 段(北海道)～第 47 段(沖縄)のシリーズ化としてコンビニ等で販売し、全国で各県の家庭料理を味わってもらう。QR コードを付けて、各県の PR 及び家庭料理の紹介(冊子の一部を利用する等)が見れるようにする。

②伝承料理を現在ある調理器具で簡単に作ることでできるレシピ作りはとても良い案だと思いました。これからの人に伝えていく場合、レシピ本のような紙媒体ではなく、動画再生できる媒体がよいと思います。また、今も以前の作り方で作り継いでいる方の動画ものこしておくべきかと考えます。前回の伝え継ぐでは聞き取り調査はできましたが、動画に残すことはできていませんでしたので、動画をまとめるのもよいのではないかと思います。素人のビデオ撮影・編集では後世に残るものを作成することは困難ですが、学会として全国版でまとめられるととても良いと考えました。また、新しい調理器具で作る「作り方」のみではなく、本来(これまで伝わってきた)の作り方もタイアップさせて伝えられればとても良いと思います。

③まだまだ、85 歳前後の方からの聞き取り調査により、昔の方の生活の知恵からの調理に

ついて聞き取りを行うと良い。例えば、味噌玉を軒先に吊るして起き、リンゴの花が咲く頃に味噌玉を下ろして次の作業を行うとか・・・。

④料理本は買わずに、料理はスマホで youtube を見ながら作る時代に対応した取組を考えないと、伝え継ぐことは難しいと感じました。その意味では農水省の「うちの郷土料理」に負けたなと感じました。私も関わり、内容やまとめ方の杜撰さには驚きましたが。料理の写真も〇〇県は JA の郷土料理集からのものが大半となり、結局は、無料配布している JA の料理集の宣伝になったと思います。また、地域の郷土料理の講習会にも何度か申込みをしましたが、結局人が集まらず中止になってしまいました。コロナ前は電力会社やガス会社が無料のキッズキッチンなどを数多く開催しておりましたので、これに対抗するためにはマンパワー、マネーパワーが必要ですが、〇〇県の会員 1 名では全くお手上げの状態です。

⑤先のご質問とも関係しますが、各県ごとの特徴がわかるような企画(全国を網羅してあり、各県負担にならない程度の枚数で記載する)がありますと、これまでの 16 刊に書けなかった特徴なども取り上げて記入するなどが考えられます。

⑥「総まとめ」のアイディアとは少し異なるかとは思いますが、◎●支部では、うかたまや報告書に書ききれなかった多くの有意義な調査内容などを支部内で共有（お互いに料理の紹介をして試食会なども催して）してきました。大変勉強になり、有意義であるとメンバーにも好評でした。◎●支部ではそれらを今後も何らかの形で続けていくことになるかと思っています。全国で、となると大規模になりこれまでのポスター発表のようになってしまいますが、もう少しピンポイントで深く紹介しあうなどできれば、興味深いお話がたくさんあるのではないかと思いますし、会員の見識も深まり、有意義なものとなる気がします。

⑦県毎の特徴をまとめ 1 冊に報告書にする。※まとめ方は自由

⑧他県の郷土料理と内容がかぶるために掲載できなかった料理がある。同じような郷土料理がどこにあるのか、違いの有無や内容を調査できるとよい。

難しいと思いますが、昔の地方別に分ける。同県内でもかなり異なることがわかりましたので、郷土史等の研究に利用できるかと思いました。

⑨類似のレシピを検討してみる。(地域特性など)

6) 家庭料理研究委員会の活動について、自由なご意見、ご感想をお寄せください。

(38 件の回答。謝辞等も多くいただき有難く存じます。下記には謝辞等は省かせていただきました。ご了承ください。)

①本に掲載されなかった料理はどうなるのか少々気になります。

②これまで知ることのなかった料理や食文化に触れることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

③調理学会の活動に加わらせていただいていますこと、感謝申し上げます。他の学会と異なり、本学会は全国で統一されたテーマをもとに研究をすることができているところがとても大きな学びとなっていると感じています。

④時代の移り変わりをしっかり「食」の面で残していきたいと感じていますが、研究の点での移り変わりにも対応していただけたら嬉しく思います。科研費、助成金獲得など各先生方も課せられていることと思いますが、これからのこの研究についても科研費、助成金の対象となるようなご教示もいただけたらうれしいです。多くの地域の方々にお世話になりますし、出かけても行きますので、交通費や謝礼金等々、不足が出ないように研究にあたりたいと感じています。また、今回の調査で得た媒体（写真）等の利用についても、先に明確にしておければと思います。これについてのご協力いただく方への依頼文章や写真・レシピの使用についての同意書、ご協力いただいた方へのお礼文等々学会として統一して行うことができますように、ご教示ください。（前回の研究では、常識が足りず、色々ご迷惑をおかけしてしまった点があり、反省が残っています。研究で得た成果は大きいですが、人としての依頼から後始末までの行動が不足だったと感じています。）研究も、そして研究に対する様々な手続き等々がまだまだ勉強不足ですので、ご教示いただきたいと思っています。よろしく願いいたします。

⑤調査に参加させていただき大変勉強になりました。報告書や学会発表だけでは報告しきれない部分も多く、せつかくの調査ですので、できるだけ記録として残せるといいと思います。（必要なら追加調査を行い論文にまとめるなど）

引き続きよろしく願いいたします。

⑥集めたり、作成した料理の全てを本に記載できなかつたので、利用されなかつた料理の活用が望まれます。

⑦調査してまとめたことを活かせるようにしていくとよいと思う

⑧とても重要な活動でもっと積極的に参加したいのですが、日々の業務に追われ難しい状況です。どうしたら学生たちと一緒に参加できるかと考えています（ゼミ活動などに取り入れるとその時間を充てることができましたので）。

⑨コロナ禍で、ゆっくり作りながら、話しながら、食べながらの追加調査ができずにいます。全国的に郷土料理をまとめ上げることは個人や県単位では無理があります。大変貴重な資料が完成したと思います。

⑩この成果を今後も様々な研究に生かせるようにしていくべきかと思っています。同じ種類の料理の県別、地域別比較など。

⑪全国的な取り組みの取りまとめに敬意を表します。大変なことと存じます。これからの活動が楽しみです。

⑫家庭料理研究委員会お疲れ様です。2012～2014 の特別研究のデータも〇〇県は手つかずにしておりますので、新たな取り組みの前に、これらをまとめることを考えねばならないと感じております。

⑬現代の情報伝達技術を駆使して次世代へつなげていくことは、従来の伝承を調査研究した家庭料理研究委員の役目と思っています。

⑭Web サイトの著作委員会のページ『伝え継ぐ 日本の家庭料理』16冊を整理したの視点

をしてしていただいております、今後の活用に大変役立ちそうで、ありがたいです。

⑮わからないことがあれば家庭料理委員会にお尋ねできるという安心感があります。

⑯各県で委員数に差があるので、負担の度合いが異なり、取り組みに対する温度差もかなりあるのではないかと思われました。

⑰家庭料理研究会に入らせていただき、各県の家庭料理への興味が深まりました。自身の県のことを知るために、作り手の方のお話を聞いたり、つくっているところを見ることで料理の奥深さ、継ぐべき料理の大切さを実感する機会となりました。

⑱「家庭料理 Web サイト」のご作成、ありがとうございます。これまでの経緯がよくわかります。また都道府県のページにコンテンツを投稿したいと思います。

⑲改めて地域の料理を掘り起こすことができました。また県内の調理科学会の先生方と一緒に共同研究するいい機会となり、とても楽しかったです。今後も特別研究が続くと、学会としても盛り上がるのではないかと思います。

⑳活動は良いことだと思います。退職しているのでできる範囲内で参加したいと思っています。

㉑調理科学学会員も含め、研究委員の確保が必要と思います。

㉒全国調査であるために、求められる内容に統一感が必要なことは理解できないわけではありませんが、説明が十分になされずに実施された感があります。さらに、長い期間の調査研究になるとを想定できず、調査対象者に確認しようにもすでに伺いすべき方がおられないことも多々生じ、つまり調査時点で70歳以上の方が望ましいとされ、それらの方に再度確認することも、10年経過しており困難でした。良い提案、研究活動であっても、10年近くの長期になることとは想定されないメンバーもおられ、県のメンバーが抜けられました。細々と少ない人数で実施したため、当初の意気込みは、すっかり失せており、ただ疲れております。また、農文協とのうかたま別冊には、未だにやらされた感が強く残っていることが残念でなりません。研究倫理や個人情報、著作権の問題など、この10年で考え方が厳しくなっているように思われます。情報が正確に詳細に会員に伝えられていない感も大きく残っております。研究委員会のおまとめの先生方は、正確な情報が届けられご納得されて、委員会のメンバーに伝えてくださっておられると思いますが、正確で、具体的な情報としては、届きませんでした。従って、いつも右往左往しておりました。

以上の委員会全体としての感想は、厳しい意見が多くなりました。しかし、個人的な活動については、次のように有意義で、次の研究に発展できる感もありました。

㉓本委員会の活動を通して、調査対象の地域の方々と大変親しく現在もお付き合いさせていただいております。先に示したように10年近い活動は、大変でしたが、逆に、対象者と細く長いお付き合いとなり、それは現在も続いております。さらには、家庭料理を話題に新しい情報を、同県内の別地域の方から伺うことも多くなり、聞き書き調査の醍醐味を知りました。

㉔「家庭料理」というテーマは、調理科学会にとって魅力ある研究の対象と考えております。

今後も、個人活動として研究を継続したいと思います。

②④活動のまとめをありがとうございます。ひとつの形として、まとまっているのを見ると嬉しくなりました。引き続きよろしく願いいたします。

②⑤全国組織の利点を活用した地域性を明らかにする調査研究などを行うとよいかと思いました。

②⑥家庭料理 Web サイトでは、これまでの成果を発信できる場を作ってくださいありがとうございます。とても良くまとめてくださっていると感じました。

②⑦この後も何らかの形で活動を続けられたらよいと思います。

②⑧多岐にわたる企画（調査、学会発表等も含め）を取りまとめいただきありがとうございます。

②⑨調査に協力いただいた方の高齢化が進み、追加調査が難しい。そもそも学会の委員が少なく、研究体制が構築できずほぼ個人作業になっていて負担が大きい。農文協のデータベース作成など、まだやるべきことが山積。

③⑩とても有意義な活動でした。私自身が知らなかった料理を知り、また昔はこの辺はとても寒かった、等の話とともに貴重な経験をお聞かせいただきました。

③⑪研究に割く時間が確保できずご協力ができていないことを反省しています。

③⑫今後も可能な限りご協力したいと考えております。宜しく願い致します。

③⑬最初3年だったものが、農文協からの出版、ポスター発表とどんどん加わり、会員の少ない県なので対応するのが大変でした。

③⑭よくやったと思う。

③⑮和食の継承には大切な活動なので、これからも活発な活動をしていければと考えています。

③⑯当初メンバーであった先生方が順々にご退職されますので、本研究活動の継続が心細くなっております。

③⑰現在の委員だけでなく、新たな委員を追加し、内容を検討、修正してより良いものとする。

以上